

3D 関西だより

No. 9 2012.1.22

新年の例会を開きました

1月22日(日)今年初の例会を開きました。正月に飲み過ぎて体調不良の方や所用と重なった方があり、参加は12名といつもより少なめでしたが、まもなく開催予定の大阪都市美展初参加の話題などで盛り上がりました。

大林さんが自作のステレオベース(下の写真)を披露されました。これは断面がコの字形のアルミサッシを使ったもので、一眼レフ2台をくっつけて並べたところから最長84cmまでステレオベースを連続的に変えられるものです。適度に摩擦があるので、スムーズに動き、がたつきもありません。

作りたい方は、大林さんにお問い合わせください。



通常62cm



伸長84cm

また、六田さんがW3用の接写アダプター(下の写真)を自作して披露されました。これは表面鏡4枚を組み合わせたもので、W3のステレオベースを2cmぐらいまで縮めることができます。これで20cmぐらいの接写ができると思います。

くわしい作り方は、六田さんにお問い合わせください。



大阪の都市美を3Dで表現する

総合デザイナー教会DAS主催の第5回大阪都市美展「大阪ええとこ なにわ新百景」が、2月20日(月)～24日(金)に大阪市役所1階エントランスロビーで開かれました。わが3D関西は特別参加で、会場の一角をいただき、アナグリフのプリント展示やビデオ上映を行いました。都市美展に3Dが登場するのは初めてとあって、なかなか好評でした。

とりわけ床面に置いたスクリーンに上から投影したファントグラム「3D中之島」は初めて見たという人が多く、ビジネスに使えるかという相談もありました。また、今回のコンセプトであった「3D大阪今昔」を具現化させた昔の大阪の2D写真の3D化も大成功で、2次、3次の展示希望が寄せられています。3月7日～20日には、大阪市住まい情報センター4階で展示を行います。



第5回 大阪都市美展 3D関西コーナー



床面から高層ビルが立ち上がって見えるファントグラム